

平成15年福岡市消費者物価指数

総務省統計局から公表されている平成15年消費者物価指数について、福岡市分をまとめましたので紹介します。

1 消費者物価指数について

消費者物価指数とは、全国消費者世帯が購入する各種の商品とサービスの価格を総合した物価の変動を時系列的に測定するものです。5年毎に基準を改定しており、現在は平成12年の消費構造を基準として(指数=100)、家計の費用が物価の変動によってどう変化するかを、指数で示したものです。

2 概況

平成15年平均の福岡市消費者物価指数は、総合指数で96.6となり、前年平均に比べて0.6%の下落となっています。なお、下落幅は昨年より小さくなっています。

これは、家庭用耐久財や教養娯楽用耐久財の物価下落が主な要因で、特に教養娯楽用耐久財については指数が50を割り込む状態となっています。

また、本市の最近5年間の総合指数をみると、平成12年以降下落に転じており、平成12年と比較して上昇しているのは、大分類においては、住居と教育の2分類のみとなっています。全国指数も平成11年以降下落に転じています。

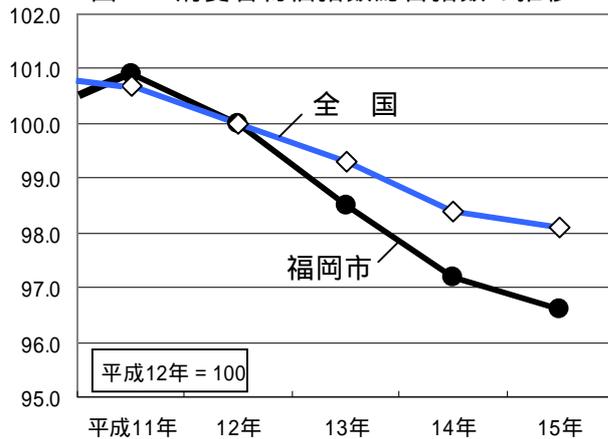
表1 福岡市消費者物価指数の推移

平成12年=100

分類	ウェイト	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年	
		年平均	対前年比	年平均	対前年比	年平均	対前年比	年平均	対前年比	年平均	対前年比
総合	10,000	100.9	0.5%	100.0	-0.9%	98.5	-1.5%	97.2	-1.3%	96.6	-0.6%
食料	2,767	102.2	0.1%	100.0	-2.2%	97.1	-2.9%	95.4	-1.8%	94.9	-0.5%
*(魚介類)	274	103.9	-0.1%	100.0	-3.8%	93.0	-7.0%	89.7	-3.5%	84.2	-6.1%
(野菜・海藻)	279	108.4	-8.1%	100.0	-7.7%	102.2	2.2%	96.8	-5.3%	100.5	3.8%
(飲料)	134	100.4	1.4%	100.0	-0.4%	98.7	-1.3%	98.7	0.0%	93.4	-5.4%
住居	1,652	99.2	0.9%	100.0	0.8%	101.9	1.9%	103.5	1.6%	103.8	0.3%
(家賃)	1,451	99.8	0.9%	100.0	0.2%	102.2	2.2%	104.0	1.8%	104.3	0.3%
光熱・水道	678	99.5	-1.2%	100.0	0.5%	99.1	-0.9%	98.4	-0.7%	97.7	-0.7%
(電気・ガス代)	493	99.6	-1.5%	100.0	0.4%	98.1	-1.9%	97.1	-1.0%	95.9	-1.2%
(他の光熱)	15	93.8	-2.7%	100.0	6.6%	96.9	-3.1%	92.5	-4.5%	98.1	6.1%
家具・家事用品	379	104.7	-0.4%	100.0	-4.5%	93.5	-6.5%	88.3	-5.6%	82.4	-6.7%
(家庭用耐久財)	127	114.2	-2.2%	100.0	-12.4%	86.0	-14.0%	73.1	-15.0%	58.9	-19.4%
(室内装備品)	38	99.5	-4.0%	100.0	0.5%	109.0	9.0%	112.1	2.8%	104.4	-6.9%
被服及び履物	614	101.9	3.3%	100.0	-1.9%	97.4	-2.6%	91.8	-5.7%	90.1	-1.9%
(洋服)	249	104.6	3.6%	100.0	-4.4%	98.0	-2.0%	93.0	-5.1%	91.0	-2.2%
(シャツ・セーター類)	124	102.6	4.1%	100.0	-2.5%	95.8	-4.2%	84.4	-11.9%	80.3	-4.9%
保健医療	321	100.6	0.6%	100.0	-0.6%	98.0	-2.0%	95.2	-2.9%	97.7	2.6%
(保健医療サービス)	155	100.6	-0.8%	100.0	-0.6%	102.8	2.8%	102.0	-0.8%	110.3	8.1%
交通・通信	1,410	99.7	0.2%	100.0	0.3%	99.3	-0.7%	98.7	-0.6%	98.5	-0.2%
(自動車等関係費)	744	98.6	0.0%	100.0	1.4%	101.0	1.0%	100.7	-0.3%	100.4	-0.3%
教育	544	99.0	1.1%	100.0	1.0%	101.0	1.0%	101.2	0.2%	102.0	0.8%
(補習教育)	92	100.0	1.0%	100.0	0.0%	100.0	0.0%	100.0	0.0%	102.8	2.8%
教養娯楽	1,142	102.2	-0.7%	100.0	-2.2%	96.1	-3.9%	93.7	-2.5%	91.8	-2.0%
(教養娯楽用耐久財)	146	112.8	-1.2%	100.0	-11.3%	73.1	-26.9%	58.6	-19.8%	48.0	-18.1%
諸雑費	492	99.2	2.4%	100.0	0.8%	100.1	0.1%	98.7	-1.4%	99.5	0.8%
(身の回り用品)	75	98.5	5.0%	100.0	1.5%	97.8	-2.2%	89.6	-8.4%	93.6	4.5%
[参考]全国の総合	10,000	100.7	-0.3%	100.0	-0.7%	99.3	-0.7%	98.4	-0.9%	98.1	-0.3%

* 分類中の()は中分類で、各費目の指数の変動要因になった主なもの。

図1 消費者物価指数総合指数の推移



3 費目別

費目別指数の動きを見ると次のとおりです。

(文章中の()内は対前年比)

【食料】 指数 94.9 対前年比 -0.5%

魚介類(-6.1%),飲料(-5.4%)が値を下げましたが,野菜・海藻(+3.8%)が値を上げ,全体としては下がっているものの下落幅は小さくなっています。

【住居】 指数103.8 対前年比 +0.3%

家賃(+0.3%)が値を上げています。なお,家賃は平成7年以降上昇を続けています。

【光熱・水道】 指数 97.7 対前年比 -0.7%

電気・ガス代(-1.2%)が値を下げていますが,白灯油などの他の光熱(+6.1%)が値を上げています。

【家具・家事用品】 指数 82.4 対前年比 -6.7%

平成4年をピークに値を下げ続けている家庭用耐久財(-19.4%)がさらに値を下げ,昨年まで値を上げていた室内装備品(-6.9%)が値下げに転じました。

【被服及び履物】 指数 90.1 対前年比 -1.9%

洋服(-2.2%),シャツ・セーター類(-4.9%)が値下がりしましたが,下がり幅は昨年より小さくなりました。

【保健医療】 指数 97.7 対前年比 +2.6%

保健医療サービス(+8.1%)が大きく値を上げたことにより,保健医療の分類の指数が上昇しました。

【交通・通信】 指数 98.5 対前年比 -0.2%

自動車等関係費(-0.3%)などが値を下げました。

【教育】 指数102.0 対前年比 +0.8%

補習教育(+2.8%)などが値を上げました。

【教養娯楽】 指数 91.8 対前年比 -2.0%

教養娯楽用耐久財(-18.1%)が大幅な下落を続けています。

【諸雑費】 指数 99.5 対前年比 +0.8%

昨年大きく値を下げた身の回り用品(+4.5%)などが上昇し,諸雑費分類の指数が上昇に転じました。

表2 平成15年月別福岡市消費者物価指数

(平成12年 = 100)

分 類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 合	96.7	96.4	96.4	96.6	96.9	96.6	96.7	96.8	96.9	96.9	96.4	96.3
食 料	95.9	95.4	94.2	94.4	95.0	94.7	95.0	95.3	95.6	95.4	94.0	94.0
住 居	104.2	104.2	103.9	103.8	103.9	103.9	103.9	103.7	103.7	103.7	103.6	102.5
光 熱 ・ 水 道	97.3	97.3	97.4	97.7	97.8	97.8	97.9	97.9	97.9	97.8	97.8	97.7
家具・家事用品	85.9	84.8	84.7	83.5	82.5	82.3	82.1	81.6	80.2	81.1	80.4	79.6
被服及び履物	85.8	84.8	87.9	91.3	92.6	92.1	88.5	85.4	92.4	92.8	94.4	93.7
保 健 医 療	95.3	95.0	95.0	98.4	98.8	98.6	98.4	98.6	98.6	98.6	98.6	99.0
交 通 ・ 通 信	98.6	98.5	99.0	98.6	98.5	98.3	98.7	99.6	98.1	98.1	98.1	98.4
教 育	101.2	101.2	101.2	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
教 養 娯 楽	92.4	92.2	92.5	91.2	91.8	91.4	91.8	93.1	91.7	91.8	90.5	90.8
諸 雑 費	98.2	98.3	98.7	99.3	98.6	98.5	100.0	100.2	100.6	100.1	100.2	100.7

4 年間の動き

総合指数の年間の動きを見ると、最高は96.9（5月、9月、10月）、最低が96.3（12月）で振れ幅が小さく、全体的にほぼ横ばい状態になりました。

次に費目別の主な動きを見ると、「被服及び履物」が例年のように季節の変わり目ごとに上下していますが、年間を通した値では下落傾向と

なりました。

「家具・家事用品」についても前年に続き下落傾向を示し、12月には指数が80を割りました。

一方、「住居」及び「教育」の分野については年間を通じて100を超える指数となりました。

また理美容サービスや身の回り用品を含む「諸雑費」が、下半期を通じて100を超える指数となりました。

図2 平成15年 費目別指数の動き（福岡市）

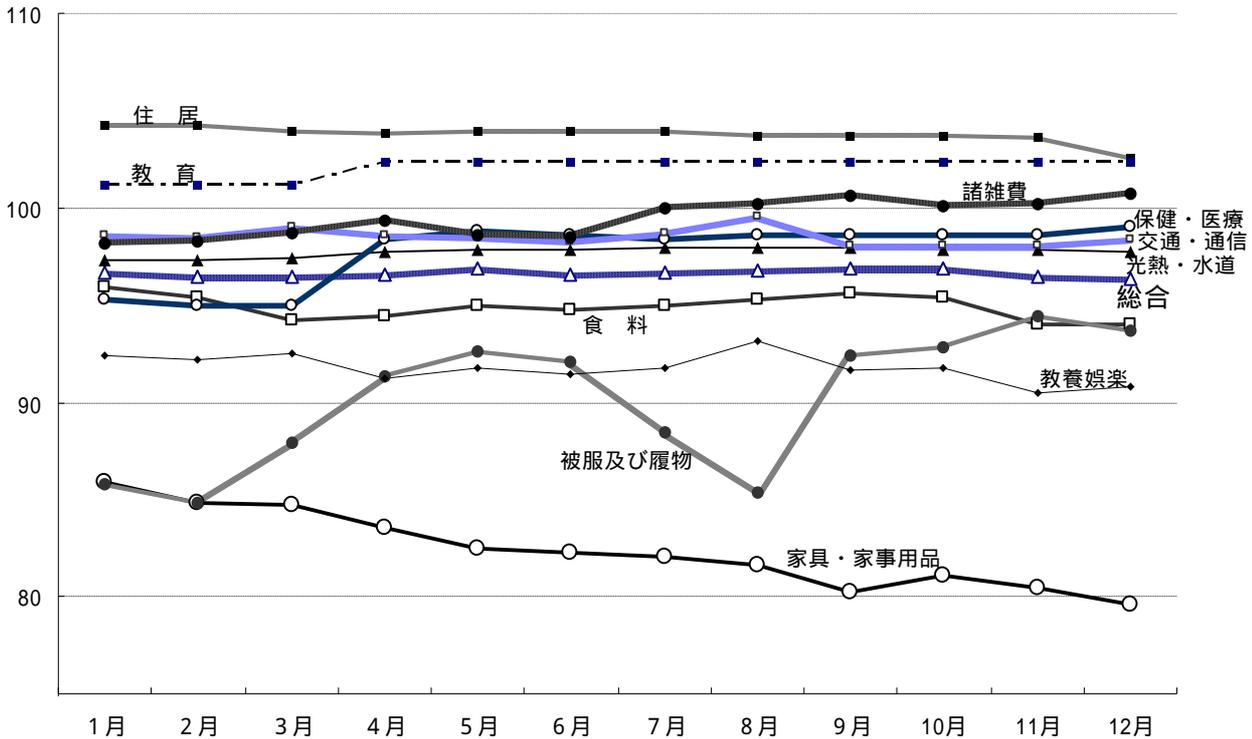


表3 全国及び14大都市 平成15年平均消費者物価指数の対前年比

	(単位 %)															
	全 国	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都	川崎市	横浜市	名古屋市	京都市	大阪市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市	
総 合	-0.3	-0.3	0.0	-0.3	-0.8	-0.4	0.0	0.0	-0.4	-0.4	-0.3	-0.4	-0.4	-0.5	-0.6	
食 料	-0.2	-0.8	-0.5	0.5	-0.6	-0.2	0.6	0.2	0.1	0.3	-0.1	-0.2	0.2	-0.2	-0.5	
住 居	-0.1	0.0	1.1	-0.5	-0.6	-0.6	0.2	0.0	-0.2	-0.6	-1.4	-1.4	-0.3	-0.2	0.3	
光熱・水道	-0.5	1.2	-0.3	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.2	-1.3	-1.5	-1.3	-1.5	-1.5	-0.7	-0.7	
家具・家事用品	-3.0	-2.3	-1.5	-3.3	-5.0	-2.9	-1.6	-1.2	-5.5	-3.1	-2.9	-4.8	-3.3	-5.0	-6.7	
被服及び履物	-1.9	-1.6	0.4	-2.7	-5.8	-1.0	-1.6	-1.7	-1.7	-1.4	0.9	1.0	-2.3	-2.3	-1.9	
保健医療	3.4	4.0	3.3	3.9	2.4	3.5	3.6	4.2	3.1	3.0	2.7	2.0	1.8	3.1	2.6	
交通・通信	0.1	0.2	0.0	0.0	-0.3	-0.3	0.2	0.1	0.0	-0.5	-0.2	0.1	-0.3	0.1	-0.2	
教 育	0.6	1.1	1.0	0.9	1.1	-0.1	0.0	-0.2	0.7	0.3	0.8	0.8	0.8	1.0	0.8	
教養娯楽	-1.5	-2.0	-2.0	-1.8	-0.7	-1.3	-1.5	-1.4	-1.9	-1.5	-0.7	-1.0	-1.3	-2.0	-2.0	
諸 雑 費	0.9	0.5	0.8	0.9	-0.1	1.1	1.7	1.3	0.8	0.4	1.8	0.9	0.7	1.5	0.8	

5 大都市の状況

14大都市（政令指定都市及び東京都区部）の平成15年平均消費者物価指数をみると、総合指数で前年と同じ指数となった都市が3都市ありましたが、その他の都市では下落しています。本市は千葉市に次いで2番目に大きな下落率（-0.6%）となりましたが、各都市とも下落率は小幅なものとなりました。

費目別に見ると、すべての都市で下落した費目は「家具・家事用品」「教養娯楽」の2つとなりました。特に「家具・家事用品」は、どの都

市も下落傾向を示しています。

一方、平成14年にすべての都市で下落していた「保健医療」は、一転してすべての都市で上昇しています。

14大都市中の本市の位置づけとしては、下落率で見れば「家具・家事用品」の-6.7%（14大都市中1番目）が目立ちます。一方、「住居」については仙台市に次ぐ上昇率(+0.3%)を示しており、また指数が最も高い都市となっています。他の指数が相対的に下位にあることは対照的です。

図3 全国及び14大都市 平均消費者物価指数（総合）（平成12年=100）

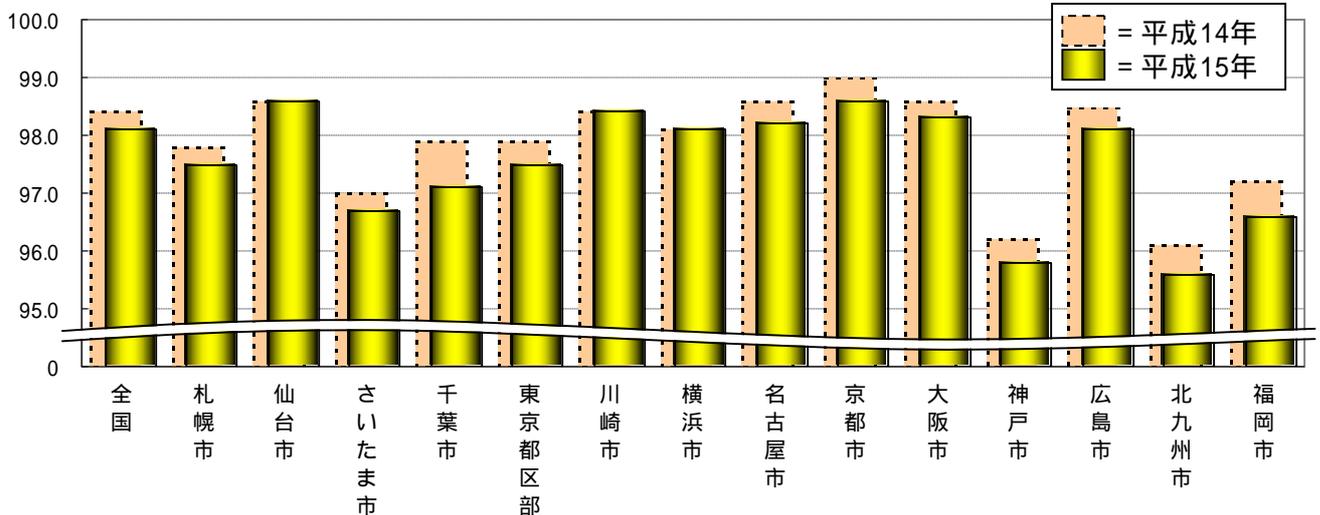


表4 全国及び14大都市 平成15年平均消費者物価指数

（平成12年=100）

	全 国	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都区部	川崎市	横浜市	名古屋市	京都市	大阪市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市
総合	98.1	97.5	98.6	96.7	97.1	97.5	98.4	98.1	98.2	98.6	98.3	95.8	98.1	95.6	96.6
食料	98.4	96.8	98.1	98.5	98.5	98.7	99.9	100.0	98.5	98.9	98.3	99.2	98.2	95.0	94.9
住居	100.0	100.3	101.8	94.9	97.4	96.9	100.0	97.7	100.8	100.4	98.1	88.8	100.2	97.4	103.8
光熱・水道	98.9	99.1	100.0	98.0	97.9	97.6	98.4	99.5	98.1	101.1	99.0	97.9	99.2	97.8	97.7
家具・家事用品	90.1	90.0	92.9	84.2	86.3	89.6	90.1	89.2	86.7	91.0	91.8	86.2	90.9	81.0	82.4
被服及び履物	93.8	95.0	97.5	93.2	91.3	95.5	91.5	93.1	98.6	96.1	98.4	92.1	95.4	88.1	90.1
保健医療	102.9	105.0	102.2	103.9	100.9	102.9	103.2	105.1	102.5	103.1	102.3	101.1	101.4	99.1	97.7
交通・通信	98.6	98.5	98.5	98.7	98.2	98.3	98.9	98.0	99.1	97.8	97.9	98.5	98.3	98.8	98.5
教育	102.7	103.9	102.9	103.4	102.9	101.9	103.2	103.3	102.7	102.2	102.9	102.9	103.2	101.7	102.0
教養娯楽	93.5	90.9	92.7	92.4	93.5	93.9	92.6	93.3	91.3	93.5	95.4	94.5	93.7	93.4	91.8
諸雑費	100.9	100.3	101.5	102.4	98.6	101.0	101.2	101.2	101.4	101.9	101.7	101.2	100.5	101.5	99.5